観光は平和へのパスポート
国連世界観光年宣言

JHSたより

平成 26 年 2 月 25 日（15,000 部）発行
2014.2 Vol.50

学校法人日本ホテル学院
発行所／専門学校日本ホテルスクール
一般財団法人 日本ホテル教育センター
〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号　TEL.03-3360-8231(代)
http://www.jhs.ac.jp　http://www.jec-jp.org/　FAX.03-3360-8584

フィリピンのUPH大学と初の大交流会

～１年次全員参加の海外研修旅行でも連携～
11 班 419 名の１年生全員がアジアの異文化交流を体験

UPH学生と交流
写真左から：原 采見さん、UPH学生、小川 加奈さん、秋本 隆徳さん

2013 年度の 1 年次海外研修旅行は、目的地をフィリピンと定め、ＵＰＨ大学の全面的な協力を得て、１２月９日～２月２日の期間に、1 年生全員 419 名が約 40 名ずつ 11 班に別れ、同大学の学生と大交流会を実施しました。

本校では、卒業までに全員が二つ以上の異文化圏を体験し、国際社会への対応を目指していますが、今回、海外の大学で学生との交流会を開くのは、初めての試み。学生同士がこうした機会を通じて、同世代間の国際交流で、互いに文化の違いを理解して、認め合い、両国の友好親善に繋がれば幸いです。

現地では、ホスピタリティ経営学部の教授及び学生が主体となり、歓迎式典、伝統舞踊、体験授業、観光名所の紹介ブース等々の準備、加えて、観光時の学生同行、宿泊ホテルまでの案内、空港までの送迎など、驚くほどの歓待を受けました。数ヶ月前から、同大学アンソニー・タマヨ理事長をはじめ、教職員と学生が綿密な計画を作り、役割分担、リハーサルなどが行われていました。その結果、ＪＨＳの引率者及び学生からは、別れ際に涙するほど、予想を超えた感動を得たとの感想が寄せられました。

2005 年現在で、フィリピンの高等教育機関は、1,605 校、学生数約 240 万人、その内、学士付与の大学 85％＝1,365 校（参考：日本の大学数は約 800 校）となっていますが、ＵＰＨ大学は、21 学部、学生 5 万人、その内ホスピタリテイ経営学部には 1,700 人が在学するフィリピン南部最大の大学です。

フィリピンは、1974 年英語とフィリピン語を公用語とする「二言語法」が制定されて以来、英語力と経済性を武器に、世界各国からの企業誘致も活発化し、教育もアジアの中で国際化の先端を行く国へと変貌しつつあります。

残念ながら、日本ではアジア諸国の発展状況に疎く、アジア諸国への過去のイメージに引きつられて、認識不足、世間知らずの状態。これからは、ASEAN諸国が連携して、大きな連合体が誕生します。こうした状況も、実際に行って見聞すると、その進展ぶりが理解でき、我々の誤解に気づき、実際の交流が如何に大切かを知らされます。次世代を担う多くの学生に、しっかりと現実を理解してもらいたい。本校では、一昨年７月の提携調印を発端とし、今回の大交流を機に、さらに様々な取り組みをしていく段階にあります。

1年Cクラスの皆さん
前列左から：ナイーダ先生（日本語担当）、出張恵久氏（UPHグローバルアカデミージャパンLLC代表）
引率の武内 悟先生、アルフォンソ・ロレト学長（スクール・ディレクター）、アンチポーダ学部長

「和食」も世界文化遺産に登録

－ 和英対訳の「入門編」開発に着手 －

校長　石塚 勉

2013 年度は、観光業界にとって嬉しいニュース、第一に富士山の世界文化遺産登録、第二に東京オリンピック・パラリンピック 2020 年開催決定、第三に和食の世界文化遺産登録、そして第四に来日外国人旅行者 1000 万人突破のニュース、等々がありました。

2003 年小泉総理大臣の観光立国宣言、2008 年観光庁の設置を契機として、2011 年東日本大震災を経ながらも、明るいニュースへと繋がってきています。とりわけ、「和食」は、2011 年、財団法人日本ホテル教育センターが、業界人を主な対象に「基本編」、「実務編」の二冊の教材を開発、「和食検定試験」を開始しましたが、世界文化遺産に登録されることは知らずに開発したので、非常に嬉しいニュースとなりました。和食検定は、和食が諸外国で高い評価されているにも係わらず、国内では軽視される傾向にあったことから、古来の伝統文化を再認識してもらう意味合いで開発したものでした。

これまで、年間約 500 名が受験、インストラクター養成に入った段階で、日本語学校の留学生に和食マナーを教えたい等々の依頼が来るようになりました。これも時代の要請と理解し、和食の世界文化遺産登録を機に、多くの人達が学習できるよう和英対訳の「入門編」を開発することにしました。来春２月には完成しますので、どうぞご期待ください。

いずれにせよ、観光業界は 2020 年に向かって、発展に向かいます。それぞれが主体となって活躍できるよう、様々な知識や技能を身につけ、日本の観光業界を支えられるよう頑張りましょう。

2013年度　第22回弁論大会を開催
～10名の弁士　最高のパフォーマンスを披露　～
― 最優秀賞　日本語部門　酒井紗貴さん　　英語部門　山崎アーサーさん ―

第22回弁論大会を11月14日、なかのZEROホールにて開催しました。全校在校生約900名、ホテル総支配人の方々などのゲスト審査員11名、内部審査員5名、保護者11名、教職員30名、計約950名の聴衆を前に、予選を通過した日本語部門５名、英語部門５名、計10名の弁士が熱弁を振るいました。

この弁論大会は「表現力、語学力の向上」「同世代間の考え方・価値観の共有」などを目的として開始され、今回で22回目を迎えました。本大会は、学内レベルの大会としては類を見ない規模で、外資系ホテル総支配人や業界企業トップの方などゲスト審査員11名を迎えて厳正な審査の結果、日本語部門最優秀賞は、昼間部ブライダル科２年酒井 紗貴さんの「【速報】サービス業の離職率　なんと10%未満に」、優秀賞は昼間部ホテル科２年王 琇葦さんの「７年後のため、今からできること」。英語部門最優秀賞は、夜間部ホテル科１年山﨑 アーサーさんの「Challenge for the Better」、優秀賞は昼間部ブライダル科２年林 由華さんの「A New Style of Wedding」が選ばれました。

最優秀賞受賞者　左から　石塚校長、山崎さん、酒井さん、グランドハイアット東京クリスティアーネ ファーガー様

そして、副賞として日本語部門最優秀賞受賞者には、日本スターウッド・ホテル株式会社よりウエスティンホテル東京朝食付ペア宿泊券、英語部門最優秀賞受賞者には、審査員として出席したグランド ハイアット 東京の副総支配人クリスティアーネ ファーガー氏よりグランド ハイアット 東京朝食付ペア宿泊券が贈られました。また、両部門優秀賞受賞者両名には、パークハイアット 東京総支配人のフィリップ ルデサー氏よりペアランチ券が副賞として贈られました。

審査員と弁士の皆様

弁士紹介（発表順・敬称略）

■日本語部門

1年	奥田 夕貴	目指せ！入籍件数＝結婚式の数
1年	寺島 唯斗	Jazz 喫茶にある本物
2年	堤 音弥	リンゴとホテリエのコラボレーション
2年	酒井 紗貴	【速報】サービス業の離職率　なんと10%未満に
2年	王 琇葦	7年後のため、今からできること

■英語部門

2年	山口 茜	Dear Generation Y
2年	林 由華	A New Style of Wedding
1年	當麻 理絵	What is the Charm of Japan?
1年	山﨑アーサー	Challenge for the Better
2年	北村めぐみ	The Grass is Always Greener　on the Other side of the Fence

審査風景

優秀賞受賞者　王さん、林さん

弁士の紹介

950名の聴衆を前に

HRSサービスコンクール2014
～校内予選会を実施～

オレンジのカービング

社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の第8回HRSサービスコンクール2014カレッジ部門出場者を決める校内予選が12月5日、10日、17日の3日間に亘り行われました。

前回の第7回HRSサービスコンクール2013に出場した山本舞さん（当時2年生）が金賞を受賞したことを契機に、多くの在校生から出場を希望する声があり、予選を行う事になりました。この結果、２年生５名、１年生３名が代表に選ばれ、本選出場をめざします。

今後、第一次審査として「あなたは、2020年のオリンピックイヤーには、どうなっていたいですか？」というテーマのレポートの審査を経て、最終的に本大会の出場が決まります。

「HRSサービスコンクール2014」の結果は次号にて報告致します。

多くの教職員、在校生が見つめる中の予選会でした

オレンジのカービングの作品

第31回 全国専門学校英語スピーチコンテスト
～ホテル科2年　藤岡聖也さんが出場～

第31回全国専門学校英語スピーチコンテストが12月2日、中央区立日本橋公会堂で開催され、本校からは、夜間部ホテル科２年藤岡聖也さんが出場しました。

藤岡さんは“Limitless Possibilities”（無限の可能性）という題名で、海外留学制度を利用してカナダに留学した経験を踏まえた自身の経験から同世代の若者に、「私たちにはいろんな可能性が広がっている」ということを伝えました。

本大会は、全国専門学校から選ばれた10校10名の代表者が、各自設定したテーマを基に英語でスピーチします。

スピーチの内容は、国際的テーマや国内のテーマ、そして個人の経験に基づくテーマなど様々で、どの出場者の内容も聞き手に共感や関心を抱かせるようなメッセージ性の強い弁論でした。

努力賞を受賞した藤岡さん
左から石塚校長、江口先生、藤岡さん、ご両親

夜間部１年生　海外研修旅行レポート
～フィリピン　UPH 大学との異文化交流～

UPH大学メインキャンパス

夜間部 1 年生は、2013 年度夜間部海外研修旅行を 2013 年 12 月 9 日～ 12 月 15 日の期間で実施しました。4 クラス計 153 名の学生が 3 泊 4 日で首都マニラを訪問しました。

今年度の 1 年生の研修旅行は研修と異文化交流を主眼に、本校と提携するパーペチュアル・ヘルプ・システム大学（UPH）の全面的な協力のもと行われ、学生たちは通常の旅行では経験することのできない貴重な時間を過ごしました。

4 日間を共にした学生が、最終日に空港でお互いが涙するという、フィリピンと日本のホスピタリティを感じる海外研修旅行になりました。

大学到着後の歓迎セレモニーやホテル・旅行学科の学生たちが総出で演出してくれた「トラベル・ミニ・マート」は見事に装飾されており、民族衣装やさまざまなパフォーマンスは心温まる歓待で、大変印象的でした。

英語授業の様子

また、4 日間とも各クラスに 10 名前後の UPH 大学の学生が同行して、市内観光、食事を共にしながら交流し、宿泊先のダイヤモンドホテルへも 24 時間体制でフォローしていただくことができました。

日本の〝おもてなし〟も素晴らしいですが、フィリピン UPH 大学の〝おもてなし〟は、本校も見習うべき点の多さを感じる研修旅行になりました。

大学指定のシャツを着用して市内観光

ホテル・旅行学科の学生による「トラベル・ミニ・マート」

フィリピン各州の観光名所と名産品を学生が紹介。民族衣装でのファッションショーやダンスパフォーマンスの披露、スナックスタンドでの試食など、非常に心温まる学生のパフォーマンスでした。

UPH大学　最高顧問リチャード・モラン氏来校
～旅程・学生の安全面・訪問先（観光地）・見学ホテルなどを確認～

左より、出張氏、モラン氏、石井氏、江口先生
川上副校長、石塚校長、武内副校長

2013 年度の昼間部・夜間部 1 年生の海外研修旅行に先駆け、研修先であるフィリピンのパーペチュアル・ヘルプ・システム大学（UPH 大学）の最高顧問リチャード・モラン氏、UPH グローバルアカデミー代表出張恵久氏とシニアディレクター石井幸雄氏 3 名が 2013 年 11 月 27 日に来校し、研修旅行の最終打合せを行いました。

本年度は昼間部（1 月）・夜間部（12 月）1 年生 420 名が、フィリピン、マニラにある UPH 大学を訪問、同大学の協力もあり滞在中、日本ホテルスクールの学生は 1,700 名が在籍するホスピタリティ経営学部の学生と交流会を通しながら、異文化を体験します。

海外留学制度保護者説明会を開催
～カナダ・バンクーバー、オーストラリア・メルボルン～

2014 年 4 月より海外留学を予定している学生とその保護者の方を対象とした海外留学説明会を 11 月 9 日実施、カナダ・バンクーバーに留学予定の 34 名、オーストラリア・メルボルンに留学予定の 31 名、保護者 75 名の計 140 名が参加しました。

学費、留学費用、ビザ取得、留学中の保険などの留学手続きの説明のほか、昨年カナダ、オーストラリア留学を経験した在校生 4 名からの体験談を紹介する時間もあり、留学中の学校の授業の様子から、ホームステイと日常生活まで、留学の気になることに関する体験談を聞くことができ、貴重な意見交換の時間になりました。いよいよこれから出発に向けての準備が始まります。

本校の海外留学制度は、昼間部・夜間部、全科共通で希望者はどなたでも留学できる制度です。毎年、50 名～ 70 名もの学生がカナダ・バンクーバー、オーストラリア・メルボルンに留学しています。

留学予定の学生、保護者の皆様

オーストラリア・メルボルンへの
留学経験を語る在校生

海外からの訪問者
～オランダ　Noorderpoort College～

オランダ・フローニンゲン、Noorderpoort College より Josefien M. Hilhorst-Laseur 先生が 12 月 24 日、親善来校しました。

Josefien 先生は、12 年間のホスピタリティ産業での経験を活かし、現在は Noorderpoort College でホスピタリティ概論や飲料科目、特にワインについての科目を教授しているそうです。

Noorderpoort College では、実務経験を 2 年間かけて勉強する学科と 4 年間で中間管理職を勉強するコースがあり、現在 1,500 人の学生が在籍しています。在学学生は、講義とインターンシップを並行して学習していくそうです。

今回の訪問は、日本のホスピタリティ産業を担う人材を育成するホテルスクールをぜひ見学したいという Josefien 先生の強い希望より親善訪問が決まりました。

宿泊実習室「Dream」を説明する
石塚校長と中山先生

2年生 秋の恒例行事 “体育祭”を実施

～台東リバーサイドスポーツセンター～

―今年のテーマは「じぇじぇじぇでスタート!倍返し祭り!合言葉は“O・Mo・Te・Na・Shi”」―

2013年度体育祭を10月30日に、浅草の台東リバーサイドスポーツセンターにて開催しました。

クラスごとにTシャツをつくり、昼間部・夜間部2年生が合同で行われる体育祭。今年のテーマは「じぇじぇじぇでスタート！倍返し祭り！合言葉は″O・Mo・Te・Na・Shi″」。日本ホテルスクールの体育祭は、学生代表の委員が中心になって計画、準備して当日を迎えます。

予定していた25日は台風の影響のため延期となりましたが、当日は快晴の中、東京スカイツリーを背に「大玉ころがし」に始まり、くじ引きで走者が選ばれる「サプライズリレー」、体育祭の目玉の「台風の目」、投げた球を選んだ大きさの籠でキャッチする「人間玉入れ」、先生方が何度も借りられた「借り物（人）競争」などが行われました。そして、日本ホテルスクールオリジナル、優勝予想したクラスに投票する形式のリレー「男子TOTOリレー（決勝）」で体育祭を締めくくりました。

優勝した昼間部ブライダル科2年Dクラスの皆さん

体育祭委員長の挨拶からスタート

恒例の赤白大玉送り

クラス対抗綱引き

応援にも力が入ります

応援ダンスに参加する学生

男子リレー

女子リレー

表彰式

クープ・ジョルジュ・バティスト・サーヴィス世界コンクール優勝者

～宮崎辰氏による特別授業を実施～

1月23日、2月5日にクープ・ジョルジュ・バティスト・サーヴィス世界コンクール東京大会優勝の宮崎辰氏（シャトーレストラン ジョエル・ロブション勤務）による特別授業が行われました。

本校より8名の学生が、「HRSサービスコンクール2014」へ出場することが決定していますが、学生達にとって、宮崎さんの知識や技術、テクニック、またコンクールに向けてのモチベーションなどを学ぶ絶好の機会となりました。

特別授業は前半に講話、後半に実技披露が行われました。前半の講話では、サービスを提供する側としての″準備″の重要性、即座に行動に移すことができるようにするための″常に意識をすること″の大切さから料飲サービスの魅力や、難しさなどを体験談と共にお話しいただきました。

HRSサービスコンクール出場予定の学生を含む料飲に興味ある学生達は、メモを取り、目を輝かして真剣に聞いていました。講話後は、実技披露でパイナップル、オレンジ、キウイのカッティング、伊勢海老のデクパージュを解説交えながら披露していただきました。

宮崎氏の実技を真剣に見る学生たち

パイナップルのスパイラルを披露する宮崎氏

トピックス

Best Story of the Month を受賞

～ヒルトン東京 実習生～

ヒルトン東京ジェイミー・ミード総支配人と鈴木さん

ホテル実習中の昼間部ブライダル科1年 鈴木 智晶さんが、実習先のヒルトン東京において「Best Story of the Month」を受賞し表彰されました。

この賞は、お客様からいただく多くの感謝の言葉の中より、最もお客様に感動を与えた従業員1名が毎月選出されるものです。ホテル実習生での受賞は今回の鈴木さんが初めてとのことです。

「お客様に話を伺うというプロアクティビティ（積極的、主体的）な行動や素敵な記念日になるよう何かできないかというホスピタリティがお客様に感動を与えることが出来た」と鈴木さんに対して評価をされました。鈴木さんのお客様への「おもてなしの心」が、ヒルトン東京の新たなファンを作り上げたようです。

～ＪＨＳ同窓会便り～

業界で活躍する卒業生
～インタビュー記事が掲載されました～

ホテル業界就職ガイド　～東京ステーションホテル勤務～

『ホテル業界就職ガイド』（株式会社オータパブリケイションズ発行）本校卒業生のインタビュー記事が″Cover Story″に掲載されました。

掲載されたのは、2015 年に開業 100 周年を迎える東京ステーションホテルで活躍している卒業生、谷津 友規さん（2011 年卒業）。そして『ホテル業界就職ガイド 2015』の表紙にも抜擢されました。

また谷津さんの他、２名の卒業生が掲載されています。シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルでベルサービスのキャプテンとして活躍されている柳田尚征さんが″ホテルの仕事″紹介ページで、パーク ハイアット 東京でクラブ・オン・ザ・パーククラブコンシェルジュにて活躍中の保坂茜さんが″輝くホテリエへの道″のページで紹介されています。

なお、就職活動研究のための「先輩たちの就職活動体験記」では、2014 年に開業予定のアンダーズ　東京に内定している本校昼間部ホテル科２年生の金子洋介さんのインタビューも掲載されています。

旅行専門誌　～マレーシア ペナン　トレーダーズ・ホテル勤務～

2009 年に卒業した橋本久美さんが、旅行関連専門誌『マレーシア ペナン（古くて新しいエキゾチックタウンを歩く）』（イカロス出版）に掲載されました。

マレーシア北部に位置し、マラッカ海峡の入口に浮かぶペナン島の旧市街地ジョージタウンの街歩きの中で、シャングリ・ラが運営するホテルであるトレーダース・ホテル・ペナンを紹介。日本人スタッフとして活躍している橋本さんが紹介されています。「リピーターのお客様がチェックインされた際に『おかえりなさい』と声掛けをしたところ、『ただいま』とおっしゃっていただいたことがあり、とても嬉しかった」とコメントも掲載されています。

現在、橋本さんはトレーダース・ホテル・ペナンでゲストリレーションズとして従事し活躍しています。在学中、海外留学制度を利用し、アメリカ・シアトルへ留学、その経験を活かし、卒業後は本校独自の制度である海外ホテル研修生制度を利用し、中国・上海のインターコンチネンタル上海浦東へ研修生として赴任しました。さらにマレーシアのシャングリ・ラ ホテルでの実務を経て、現在に至ります。

HRSレストランサービス技能検定1級合格
～表彰式を開催～

左から、塩島総支配人、大塚さん、森本 HRS 会長

HRS（社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会）新春・会員の集いが 2 月 5 日に、ホテル椿山荘東京にて開催されました。

新春・会員の集いでは、レストランサービス 1 級合格者表彰式も行われ、本校の卒業生である大塚美咲さんも壇上で表彰状を会長から授与されました。

大塚さんは、2007 年度本校を卒業後、ホテルメトロポリタンのマーケティング部に所属し、現在宴会サービスキャプテンとして活躍されています。

また、2 年前より本校の講師として宴集会実務を担当して後輩指導にもあたり、力を発揮しています。

トピックス

本校教職員が料理専門誌に掲載されました
～『料理王国』～

川上先生

本校副校長の川上忠道先生が、料理の専門誌である『料理王国』2014 年 1 月号に掲載されました。本校で講師を務める高森修先生の連載「すべてはゲストのために」内で、若手教育をテーマに高森先生と対談しています。

2020 年東京オリンピック開催、和食の無形文化遺産登録など、飲食業界を刺激する話題が続く中で、未来を担う若いサービススタッフたちをどのように育成する必要があるのかをテーマに、川上先生と高森先生が、それぞれの考えを述べています。川上先生は「感受性の強い若者の育成には、３年後、５年後の自分の目標となる人の存在が大切であり、教育する側はそのサポートが必要である」と、本校が取り組む教育内容をもとにメッセージを伝えています。

◆◆◆　同窓会事務局からのお知らせ　◆◆◆

◇◇　住所変更手続きのご案内　◇◇

JHS ホームページ「卒業生の皆さまへ」で住所変更が可能になりました。直接フォームに入力していただくか、「変更届 PDF」を印刷し郵送、または FAX にてお送り下さい。住所を変更された方は必ず手続きをお願いします。

■ お問い合わせは同窓会事務局まで
担当：下田憲司　TEL:03-3360-8231　FAX:03-3360-8584
ホームページ　http://www.jhs.ac.jp

財団ニュース

第3回　学生観光論文コンテスト　審査結果発表
～賞金総額 100 万円　受賞者決定～

一般財団法人日本ホテル教育センターは、一般社団法人全日本シティホテル連盟の協賛を受けて、公益財団法人日本ナショナルトラストと共催で昨年末、全国の大学・短期大学・専門学校の学生を対象とした「学生観光論文コンテスト」を昨年に引き続き実施、最優秀賞１編、優秀賞２編、合計３編、賞金総額１００万円の受賞者が決定しました。

第3回学生観光論文コンテスト表彰式風景
受賞者 審査員と共に

最優秀賞【観光庁長官賞】
桜美林大学 リベラルアーツ学群 数学専攻４ 年 尾羽 伸紘さん
「鉄道ネットワークを生かした、地方地域の発展に導くための『鉄道観光モデル』の提案」

優秀賞【公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞】
明治大学 経営学部 公共経営学科 菊地ゼミ 3 年
森山真稔さん、大浅希衣さん、野原紬さん、柳橋理子さん
「集約型自治体クラウドファンディング・システムによる伝統的景観の形成と観光立国の推進戦略に関する研究～美しい町“なみ”がもたらすにぎわいの“なみ”～」

優秀賞【社団法人全日本シティホテル連盟会長賞】
桜美林大学 ビジネスマネジメント学群ツーリズム・ホテル・エンターテイメントコース 3 年 菊川 慶子さん
「日本における観光系大学の役割～なぜ観光系大学の学生の観光産業界への就職率は低いのか～」

表彰式 日時：2014 年 2 月 18 日（火）15：30 ～ 16：30
（受賞理由など審査の総括発表は下記の表彰式および本財団の WEB サイト上にて公開しております。）
お問合せ：事業部 教育事業室 藤原 弘一
ＴＥＬ：03-3367-5663　http://www.jec-jp.org/

日本食文化の世界遺産化プロジェクトを推進
～和食の初心者向け「入門編テキスト」を開発中～

「和食：日本人の伝統的な食文化」を世界無形文化遺産であると考え、その保全、次世代への継承のための取り組みに賛同し、和食検定を通じて日本食文化を保全、継承するための保護措置に取り組んでいます。また「日本食文化のユネスコ無形文化遺産化推進協議会」に参加して、その登録を応援、2013 年 12 月正式に世界無形文化遺産に登録されました。

和食検定を主催する、一般財団法人日本ホテル教育センターでは、新たに和食検定「入門編」テキストの開発を進めています。和食検定「入門編」は、世界無形文化遺産に登録された日本人の伝統的な食文化である「和食」を大切に育み伝えていくために、初心者向けにその価値と内容を分かりやすく解説する和英対訳版の学習ツールです。

当財団では既に実務者向けの『和食検定』の基本知識、実務知識を中心とした基本編テキスト、実務編テキストを発行しており、入門編テキストでは、主に一般の人達や学生、外国人留学生及びに業界新入社員に向けて、和食の初歩的な知識を分かりやすく解説し、世界の和食となった「日本人の伝統的な食文化」への理解を深める機会を 広く提供します。

テキストは見開きの和英対訳版とし、今後ますます必要性の増す和食の英語での情報発信をサポートします。テキストの完成は 2015 年 3 月を予定しています。

和食検定テキスト　基本編・実務編

和食検定は、日本の食文化を正しく理解し、正しく伝えるための基礎知識の普及と、和の食文化を継承し発信していくために必要な専門知識と実務知識の理解度を測るための筆記試験です。レストランや旅館での和のサービスに向けた教育機関がない中で和食を日本の文化として捉え、知っておきたい基本的な事柄をおもてなしの現場や日々の生活の中で生かしていけるようにとの思いから生まれました。

和食検定

■和食検定に関するお問い合わせ
一般財団法人日本ホテル教育センター
TEL:03-5937-4321　www.wasyokukentei.jp

■テキストのご購入
株式会社プラザ出版
TEL:03-3367-5663　www.plazapub.co.jp

第 14 期 ホテル産業経営塾・第 4 期 マイス塾 塾生募集中

ホテル産業経営塾

ホテル塾は、新世紀のホテリエ育成を目指す、新しいタイプの〝経営塾〟です。

◇2014 年 5 月 16 日～ 2015 年 3 月 20 日
◇全 17 回
◇毎月第 2 及び第 4 金曜日の月 2 回が基本
◇定員 30 名（定員になり次第締め切り）

MICE（マイス）塾

マイスの本質・仕組みを理解し、すぐに役立つ講座を実現します。

◇2014 年 5 月 16 日～ 2015 年 3 月 20 日
◇全 17 回
◇毎月第 1 及び第 3 金曜日の月 2 回が基本
◇定員 30 名（定員になり次第締め切り）

MICE 塾 3 期第 13 回講義風景

■ホテル産業経営塾・MICE 塾に関するお問合せ
一般財団法人日本ホテル教育センター　担当：藤原弘一　TEL:03-3367-5663

◇◇◇ JHSたより 50号 ◇◇◇
編集責任者：石塚　勉
編 集 担 当：黒沢由美子
連　絡　先：03-3360-8231
kurosawa@jhs.ac.jp